

ベトナムの貿易収支の状況(2025年1-3月)



《ベトナムの 2025 年 1-3 月期の貿易収支は 31 億ドルの黒字》

2025 年 1-3 月期のベトナムの輸出額は前年同期比 10.6%増の 1,028 億ドルだった。企業形態別でみると、国内企業の輸出額は同 15.0%増の 290 億ドル、FDI 企業（Foreign Direct Investment の略で海外資本の直接投資によって設立された企業）の輸出額は同 9.0%増の 738 億ドルだった。いずれも 2024 年 10-12 月期の増加率を上回っており、輸出の拡大は続いているといえよう。一方、輸入額は同 17.0%増の 996 億ドルだった。国内企業の輸入額は同 19.3%増の 367 億ドル、FDI 企業の輸入額は同 15.8%増の 629 億ドルだった。輸出の好調に支えられて原材料の輸入も再加速している可能性が高いうえ、国内の消費活動も好調が続いており、輸入の拡大基調も継続しているとみられる。

以上の結果、2025 年 1-3 月期のベトナムの貿易収支の黒字額は 31 億ドルとなった。前年同期の 77 億ドルから減少している。これは国内企業の貿易収支の赤字拡大に加え、FDI 企業の貿易収支の黒字が縮小したためである。国内企業の貿易収支悪化は、ベトナム国内の消費や投資活動が活発で、国内企業による先進国等からの製品輸入が増加したためである。FDI 企業の貿易収支黒字額減少は、輸出の伸び悩みが影響しているが、主力のエレクトロニクス製品の輸出は概ね堅調だった。ベトナム経済の牽引役である国内経済活動と、FDI 企業を中心としたエレクトロニクス製品の輸出は堅調に推移しているようであり、2025 年 1-3 月期の貿易の状況からは、2025 年の GDP 成長率目標（ベトナム国会が 6.5～7.0%、ベトナム政府が 8.0%）の達成は十分に期待できるといえよう。

米国のトランプ政権は、貿易不均衡の是正などを目的とし、別途関税が適用されている中国などを除いた国からの輸入品（自動車と自動車部品を除く）に対して一律 10%の輸入関税を導入した。なお、併せて導入が予定されていた相互関税は 90 日間の猶予期間が設定された。ベトナムに対しては、他の新興国に比べて大幅に高い 46%の関税適用が予定されていた。このような高い関税が適用されれば、ベトナムの対米輸出製品の生産拠点としての魅力は大きく後退することになる。ベトナムの現地企業が強みを発揮してきた軽工業製品（衣料品や雑貨など）や水産加工品は他の新興国にシェアを奪われ、エレクトロニクス製品を中心とした外資系企業は生産や投資を減らす可能性があり、貿易収支の状況が急変するリスクがある点には注意が必要だろう。

図表1 ベトナムの2025年1-3月期の貿易収支の状況

		輸出				輸入				収支	
		1-3月累計		3月単月		1-3月累計		3月単月		1-3月累計	3月単月
		金額 (百万ドル)	前年同期比 (%)	金額 (百万ドル)	前年同期比 (%)	金額 (百万ドル)	前年同期比 (%)	金額 (百万ドル)	前年同期比 (%)	金額 (百万ドル)	
総額		102,836	10.6	38,510	14.5	99,682	17.0	36,875	19.0	3,154	1,635
内訳	国内企業	29,022	15.0	11,078	18.7	36,782	19.3	13,983	20.2	-7,760	-2,905
	FDI企業	73,814	9.0	27,432	12.9	62,900	15.8	22,892	18.3	10,914	4,540

出所 ベトナム統計局の資料をもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会 有効期限作成日より 180 日 News20250414
主な事業 金融商品取引業

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。株式は、価格変動リスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。